

事業所名

放課後等デイサービス リーふ

支援プログラム（参考様式）

作成日

R7

年

2月

27日

法人（事業所）理念		一人ひとりの成長に寄り添った専門的な発達支援を目指しています										
支援方針		PECS（絵カード式コミュニケーションシステム）を支援の核とし、自発的表出コミュニケーションを最優先にしています										
営業時間		10	時	0	分から	18	時	0	分まで	送迎実施の有無	あり	なし
		支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	来所時に検温などの体調チェックを行います。 手洗いや排泄など、ご家族様と協力して、できることを少しずつふやせるよう支援を行います。（身体プロンプトからフェイディング）										
	運動・感覚	体を動かせるようボルダリングや跳び箱、マットなど備えています。 個別の感覚的ニーズに応えるため、各種感覚グッズがあります。希望に応じてスヌーズレンを実施します。										
	認知・行動	個々の発達や興味関心に応じた課題の提供を行います。										
	言語 コミュニケーション	PECS（絵カード交換式コミュニケーションシステム）を核とした療育を実施しています。 自発的な表出コミュニケーションを大切にしています。必要に応じて拒否をする練習を行います。										
	人間関係 社会性	個別の視覚的自立スケジュール（絵カードを使用した物）を用いて活動の見通しを立てます。 スケジュールの固定化を予防するため、活動の選択や予定の変更の練習を行っています。										
家族支援		・家庭・園・他事業所でPECSの実施方法を共有する為のフォロー ・療育場面を見学して頂いたり、PECS相談会の開催。					移行支援		サービス担当者会議に積極的に参加して情報共有を行います。			
地域支援・地域連携		・関係機関と情報連携や調整、支援方法等に関する相談援助を行います。					職員の質の向上		・年5回の内部研修の実施 ・個人での研修への参加を奨励（研修費申請制度有り）			
主な行事等		ご希望がありましたら放課後デイの行事に参加可能です。 ボランティア（まるたせんせ）のお楽しみ会やスタッフによる音楽会やレクリエーションを実施します。										